

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・相手意識・目的意識を持った言語活動の工夫(外国語活動)	・課題設定や振り返りの工夫 ・コミュニケーション力を伸ばす言語活動の充実	・「外国語が好きですか」の設問で、どの学年においても肯定割合が市の割合を5.5～9.7ポイント上回っている。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	・各学年ごとに「家庭学習のすすめ」を配付して、学習のめやすや取り組み例を示して、主体的に取り組めるようにする。 ・スタンダードダイアリーを活用して家庭学習時間をチェックしたり、学習計画表を作成させたりして実践させる。	・「普段、学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか(平日)」の設問で、学校で設定している目標時間である1時間を超えている5、6年生の割合が市の平均より9～10ポイント以上高い。1～4年生についても、目標時間を達成している割合が80%を超えている。 ・「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答は3～6年生で約70～80%である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」の設問に肯定的回答をしている割合は、80～90%で昨年を上回った。今後も継続してグループやペアでの話合いの場を多く設定するとともに、明確な目的のある交流となるよう話合いのさせ方を工夫していきたい。

・「宿題をきちんとやり、期限までに提出している」の設問で、ほぼどの学年も肯定的回答の割合が90%を超えていた。また、「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」の設問で、肯定的回答をしている割合は、3年生以上で66.4～78.9%であった。「新しく習ったことを何度も繰り返し練習する」ことや「授業で習ったことをその日のうちに復習する」ことに取り組ませるなど、自主学習に取り組む指導を充実させていきたい。